

小児 01 : 小児科学序論・発達

日時 : 8月20日(火) 1時限

担当者 : 山内 秀雄(小児科)

内容 :

1. 小児科学の目的と年齢別課題を概説できる。
2. 小児専門分野の必要性を述べることができる。
3. 成育医療とは何か説明できる。
4. 年齢の変化による小児の疾病構造の変化を説明できる。
5. 小児の生活習慣病について述べるができる。

キーワード :

ユニット :

小児科学, 専門分野, 成育医療

国試出題基準 :

>精神運動発達、小児の行動、哺乳力低下、体重増加不良、発達の遅れ、性発達の異常、乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、育児指導、養育医療、自立支援医療、新生児マススクリーニング、児童虐待の予防、小児の成長、小児の発達、小児の栄養、遺伝相談

教科書 :

◆ 小児科学改訂第10版(文光堂)50-58頁

参考書 :

◆ Nelson Textbook of Pediatrics, 第19版, Kleigman RM, エルゼビア・ジャパン
978-1-4377-0755-7

予習 :

小児科学改訂第10版(文光堂)50-52頁を予習しておくこと。(20分)

復習 :

授業で配布した資料を再度読み直し、不明点は教科書等で調べる。(20分)

小児 02 : 小児虐待・事故

日時 : 8月22日(木) 3時限

担当者 : 板澤 寿子(小児科)

内容 :

1. 「子どもの権利条約」に掲げられている子どもの権利を説明できる。
2. 児童虐待の分類を理解できる。
3. 児童虐待を疑う徴候および所見を説明できる(不慮の事故との違いを含めて)。
4. 児童虐待を疑った際の対応を説明できる。
5. 児童虐待が起こる具体的な状況を理解できる。

キーワード :

ユニット :

子どもの権利、児童虐待、児童相談所

★コアカリ :

GE-03-01: 人生のプロセス GE-03-01-03 家族ライフサイクル・家族成員間関係・家族システムの視点で、患者・家族間の問題(虐待・ネグレクト等)を指摘できる。

S0-01-03: 地域保健 S0-01-03-05 成育基本法、母子保健法、母体保護法、児童福祉法、児童虐待防止法等、母子保健施策の意義と概要を理解している。

国試出題基準 :

- I 保健医療論 5 保健・医療・福祉・介護関係法規 D 母子保健 ③ 児童虐待の防止等に関する法律
II 予防と健康管理・増進 4 母子保健 C 小児の保健・福祉 ⑥ 児童虐待の予防

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）第11版（2023年） 第12章 子ども虐待 第13章 事故による傷害の実態とその予防

予習：

動画視聴（60分）・厚生労働省ホームページ 動画「赤ちゃんが泣きやまない」<https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo%kosodate/dv/nakiyamanai.html> ・法務省監修 人権啓発ビデオ「虐待防止シリーズ」児童虐待 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=saDIFthydIE> <https://www.youtube.com/watch?v=rYI3D1RiC9A>

復習：

社会の中で、また、医療者として自分ができる役割を考える（20分）

小児 03：小児の予防接種

日時：8月27日（火） 3時限

担当者：本多 正和（小児科）

内容：

1. 予防接種の意義と現状を説明できる
2. 小児保健における予防接種の意義と内容を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

小児保健、予防接種 B-01-08-⑫ E-07-03-④

国試出題基準：

感染症対策、予防接種法、予防接種と検疫

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂） p84-92

参考書：

- ◆ 小児科学・新生児学テキスト 飯沼一字、有阪治、竹村司、渡邊博 診断と治療社 978-4-7878-1409-8 p150-153

予習：

教科書で当該箇所をざっと読んでおく（20分）

復習：

予防接種について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20分）

小児 04：小児科総論・小児の診察

日時：8月28日（水） 4時限

担当者：秋岡 祐子（小児科）

内容：

小児科総論・小児の診察

1. ★GE-03-02-01 小児期の身体の成長と生理機能の発達について理解している
2. ★CS-01-02-06 小児において必要な診察ができる。
3. ★GE-01-01-04 主訴に応じて、必要な医療面接・身体診察・検査を実施できる
4. ★CS-01-02-01 患者の状態に応じた診察ができる
5. ★CS-01-02-02 全身の外観（体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声）を評価できる
6. ★CS-01-02-03 バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度）の測定ができる

キーワード：

ユニット：

小児

★コアカリ：

GE-03-02-01 小児期の身体の成長と生理機能の発達について理解している CS-01-02-06 小児において必要な診察ができる。 GE-01-01-04 主訴に応じて、必要な医療面接・身体診察・検査を実施できる CS-01-02-01 患者の状態に応じた診察ができる CS-01-02-02 全身の外観（体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声）を評価できる CS-01-02-03 バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度）の測定ができる

国試出題基準：

医学総論Ⅶ3 小児の診察

教科書：

◆ 標準小児科学第9版 p1-34

予習：

教科書を読んでおく（20分）

復習：

授業で配布した資料を再度読み直し、理解できていないところや疑問の点について教科書で調べる。（20分）

小児 05：小児の体液

日時：8月28日（水） 5時限

担当者：秋岡 祐子(小児科)

内容：

小児の体液

1. ★PS-02-09-01 小児の体液の特徴を、成人と比較して説明できる
2. ★PS-02-09-01 体液を調節する尿細管の構造と機能について基本事項を理解している
3. ★PS-02-09-01 電解質異常を呈する疾患の病因・病態生理を説明できる
4. ★PS-02-09-01 電解質異常を呈する疾患の症候・診断・治療法を理解している
5. ★PS-02-09-01 酸塩基平衡異常を呈する疾患の病因・病態生理を説明できる
6. ★PS-02-09-01 酸塩基平衡異常を呈する疾患の症候・診断・治療法を理解している

キーワード：

ユニット：

小児

★コアカリ：

PS-02-09-01 腎・尿路系の構造と機能について基本事項を理解している 体液の量と組成・浸透圧（小児と成人の違いを含めて） 尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序 水電解質、酸・塩基平衡の調節機構 GE-03-02 小児期の身体の成長と生理機能の発達について理解している PS-02-12-04 小児の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している

国試出題基準：

医学総論Ⅲ7A② 医学総論Ⅳ5B④ 医学各論Ⅶ2C 医学各論Ⅶ3E

教科書：

◆ 標準小児科学第9版 537-551

予習：

教科書で当該箇所を読んでおく（20分）

復習：

疑問点を教科書で調べる（20分）

小児 06 : 小児の呼吸器疾患

日時 : 8月29日(木) 1時限

担当者 : 板澤 寿子(小児科)

内容 :

1. 小児の呼吸器の構造ならびに、その生理と機能を理解し、説明できる。
2. 小児呼吸器疾患の年齢的特徴を説明できる。
3. 小児の呼吸器疾患のそれぞれの特徴的な聴診所見を説明できる。
4. 小児の呼吸器感染症や呼吸困難をきたす疾患について説明できる。

キーワード :

ユニット :

呼吸器感染症, 肺分画症, 気道異物

★コアカリ :

PS-02-07: 呼吸器系 PS-02-07-01 呼吸器系の構造と機能について基本的事項について理解している。

PS-02-07-02 呼吸器系でみられる症候について理解している。 PS-02-07-03 呼吸器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。 PS-02-07-04 呼吸器系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。 PS-02-07-05 呼吸器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

PS-02-12: 小児 PS-02-12-01 小児にみられる症候について理解している。 PS-02-12-02 小児で行う検査方法について基本的事項を理解している。 PS-02-12-03 小児に特異的な治療法について基本的事項を理解している。 PS-02-12-04 小児の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

国試出題基準 :

必修 7 主要症候 D 呼吸器、心臓、血管 ① 咳嗽・喀痰 ③ 喘鳴 ④ 呼吸困難、息切れ ⑤ チアノーゼ 12 主要疾患・症候群 E 呼吸器・胸壁・縦隔疾患 ① 上気道炎、扁桃炎、気管支炎、細気管支炎 ② 肺炎 医学総論 III 人体の正常構造と機能 3 呼吸器、胸郭、胸壁 B 上気道・下気道の構造・機能 VI 症候 4 呼吸器、心臓、血管 A 喉頭の異常 B 気管・気管支の異常 C 呼吸の異常 D 呼吸リズムの異常 E 呼吸音の変化 F 副雑音 医学各論 IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患 1 感染性呼吸器疾患 A 気道感染症 B 肺実質感染症 E ウイルス 2 気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷 A 気管・気管支の異常 ④ 気道異物 B 肺の異常 ③ 肺分画症

教科書 :

◆ 小児科学改訂第11版(文光堂)第35章 呼吸器疾患

参考書 :

◆ 小児呼吸器感染症診療ガイドライン 2022, 日本小児呼吸器感染症診療ガイドライン作製委員会, 協和企画.

予習 :

小児期に多い呼吸器感染症について教科書で予習しておくこと。(20分)

復習 :

授業で配布した資料を再度読み直し、不明な点は教科書等で調べる。(20分)

小児 07 : 小児のアレルギー性疾患 (小児の気管支喘息)

日時 : 8月29日(木) 2時限

担当者 : 板澤 寿子(小児科)

内容 :

1. 小児気管支喘息の年齢特性と疫学的事項を説明できる。
2. 小児気管支喘息の症状、検査所見について説明できる。
3. 小児気管支喘息の診断・治療・管理の考え方を説明できる。

キーワード：

ユニット：

気管支喘息、急性増悪（発作）時の対応、長期管理薬

★コアカリ：

PS-03-02: 免疫・アレルギー PS-03-02-01 アレルギー性疾患の概念を区別して理解し、それぞれに含まれる疾患を列挙できる。 PS-03-02-02 アレルギー性疾患でみられる症状・症候について説明できる。

PS-03-02-03 免疫血清学検査の原理と検査結果の臨床的意義について理解している。 PS-03-02-04 アレルギー性疾患に使用する治療薬について理解している。 PS-03-02-05 アレルギー性疾患の疾患・病態について病因、疫学、症候、主な検査・診断、治療法、合併症を説明できる。

PS-02-12: 小児 PS-02-12-01 小児にみられる症候について理解している。 PS-02-12-02 小児で行う検査方法について基本的事項を理解している。 PS-02-12-03 小児に特異的な治療法について基本的事項を理解している。 PS-02-12-04 小児の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

国試出題基準：

必修 12 主要疾患・症候群 E 呼吸器・胸壁・縦隔疾患 ④ 気管支喘息(小児喘息を含む) 医学各論 IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患 3 免疫学的機序が考えられる肺疾患 A アレルギー性疾患 ① 気管支喘息、咳喘息 XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病 1 アレルギー性疾患 C 呼吸器 ① 気管支喘息

教科書：

◆ 小児科学改訂第11版（文光堂）第29章 アレルギー疾患

参考書：

◆ 日本小児アレルギー学会作成：小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2023（協和企画）。

予習：

小児期の気管支喘息の概要を教科書で予習しておくこと。（20分）

復習：

授業で配布した資料を再度読み直し、不明点は教科書等で調べる。（20分）

小児08：小児の成長

日時：8月29日（木） 5時限

担当者：菊池 透(小児科)

内容：

1. 小児の神経精神運動発達の特徴について説明できる。
2. ★E-7-2-2 乳幼児の正常な神経精神運動発達を説明できる。
3. ★E-7-3-1 小児の精神運動発達及び心身相関を説明できる。
4. 乳幼児の神経学的所見の取り方を説明できる。
5. 乳幼児健康診査の意義と目的を概説出来る。
6. 乳幼児健康診査のチェックポイントを説明できる。

キーワード：

ユニット：

姿勢反射、原始反射、発達障害、フロッピーインファント 乳児健診、幼児健康診査、母子健康手帳、発育評価、育児相談

★コアカリ：

精神運動発達、乳幼児、小児、心身相関

国試出題基準：

精神、言語発達、生活習慣、社会性、視力、聴力、評価、スクリーニング法、発達指数、知能指数

教科書：

◆ 小児科学（文光堂）p112-129、p876-878

参考書：

- ◆ 南山堂「写真でみる乳児健診の神経学的チェック法」

予習：

教科書で当該箇所をざっと読んでおく（20分）

復習：

授業で配布した資料を再度読み直し、理解できていないところや疑問の点について教科書で調べる。（20分）

小児 09：小児のアレルギー性疾患（食物アレルギー）

日時：8月29日（木） 6時限

担当者：是松 聖悟(総セ 小児科)

内容：

小児の食物アレルギーとアナフィラキシーを説明できる。

1. 小児の食物アレルギーの自然経過、疫学的事項を概説できる。
2. 小児の食物アレルギーの臨床型を説明できる。
3. 小児の食物アレルギーの症状、検査を説明できる。
4. 小児の食物アレルギーの日常管理について説明できる。
5. アナフィラキシーを診断し治療法を概説できる。

キーワード：

ユニット：

I型アレルギー、感作、皮膚テスト、IgE抗体、アナフィラキシー、食物アレルギー、即時型症状、アトピー性皮膚炎、口腔アレルギー症候群、食物依存性運動誘発アナフィラキシー

国試出題基準：

アナフィラキシー、食物アレルギー

教科書：

- ◆ 小児科学改訂第10版（文光堂）502-505頁

参考書：

- ◆ 日本小児アレルギー学会作成：食物アレルギー診療ガイドライン（協和企画）ISBN 978-4-87794-185-7

予習：

小児の食物アレルギーの概要を教科書で予習しておく。（10分）

復習：

授業で配布した資料を再度読み直し、不明点は教科書等で調べる。（10分）

小児 10：小児の栄養

日時：9月2日（月） 1時限

担当者：菊池 透(小児科)

内容：

小児の成長・発達

1. 小児期の成長発達の特徴について説明できる。
2. 乳幼児の生理機能の発達を説明できる。
3. 小児期の身体発育の特徴について説明できる。
4. 生歯・骨年齢について概説できる。
5. 成長の評価の方法を列挙し概説できる。
6. 思春期発現の特徴について概説できる。
7. 生殖機能について概説できる。

8. 思春期の健康問題について概説できる。

キーワード：

ユニット：

標準身長、身長 SD スコア、骨年齢、肥満度、BMI、Kaup 指数、思春期段階評価

★コアカリ：

乳幼児、生理機能

国試出題基準：

発育区分、乳児期、幼児期、学童期、身体発育、成長速度曲線、身長、体重、頭囲、胸囲、プロポーション、生歯、骨年齢、成長の評価、成長曲線、成長速度曲線、発育指数（Kaup 指数、Rohrer 指数、肥満度）、思春期発現、生殖機能、思春期の健康問題の概要

教科書：

◆ 小児科学（文光堂）p8-p21

予習：

教科書で当該箇所をざっと読んでおく（20分）

復習：

小児の成長について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20分）

小児 11：小児の内分泌疾患（下垂体・甲状腺・副腎・性腺疾患）

日時：9月9日（月） 1 時限

担当者：菊池 透(小児科)

内容：

小児の内分泌疾患

1. 小児期特有の内分泌疾患（下垂体・甲状腺・性腺疾患）を列挙し、小児期における症状、病態、治療法の特徴を説明できる。

キーワード：

ユニット：

成長ホルモン分泌不全性低身長症、尿崩症、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成症、性分化異常症、思春期早発症

国試出題基準：

先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎皮質過形成、思春期早発症、McCune-Albright 症候群

教科書：

◆ 小児科学（文光堂）p430-p445、p448-p463

予習：

教科書で当該箇所をざっと読んでおく（20分）

復習：

小児特有の内分泌疾患（下垂体・甲状腺・性腺疾患）について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20分）

小児 12：小児の内分泌疾患（副甲状腺・糖尿病・低血糖・肥満）

日時：9月9日（月） 2 時限

担当者：菊池 透(小児科)

内容：

小児の内分泌疾患

1. 小児期特有の内分泌疾患（副甲状腺疾患・肥満・糖尿病）を列挙し、小児期における症状、病態、治療法の特徴を説明できる。

キーワード：

ユニット：

副甲状腺機能低下症、ビタミンD欠乏性くる病、小児肥満症、1型糖尿病、2型糖尿病、ケトン性低血糖症、高インスリン性低血糖症

国試出題基準：

副甲状腺機能低下症、ビタミンD欠乏性くる病、小児肥満症、1型糖尿病、2型糖尿病、ケトン性低血糖症

教科書：

◆ 小児科学（文光堂）p406-p428、p445-p449

予習：

教科書で当該箇所をざっと読んでおく（20分）

復習：

小児特有の内分泌疾患（副甲状腺疾患・肥満・糖尿病）についてA4半ページから1ページ以内でまとめる（20分）

小児13：川崎病その他の小児心疾患

日時：9月11日（水） 1時限

担当者：小島 拓朗(国セ 小児心臓科)

内容：

川崎病、感染性心内膜炎、急性心筋炎、心筋症、原発性肺高血圧、リウマチ熱、Williams症候群、22q11.2欠失症候群、Down症候群、無脾症候、WPW症候群、Ebstein病、完全房室ブロック、冠動脈奇形、Marfan症候群

1. 上記疾患の診断ができる。症状を列挙できる。
2. 上記疾患の合併症を説明できる。
3. 症状や血行動態から、治療適応や治療方法を概説できる。

キーワード：

ユニット：

川崎病、感染性心内膜炎、急性心筋炎、心筋症、肺高血圧症、リウマチ熱、Williams症候群、22q11.2欠失症候群、Down症候群、無脾症候、WPW症候群、Ebstein病、完全房室ブロック、冠動脈奇形、Marfan症候群

★コアカリ：

人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、循環器系、D-5-4)疾患、D-5-4)-(3)不整脈、D-5-4)-(5)心筋・心膜疾患

国試出題基準：

川崎病、感染性心内膜炎、心筋炎、心筋症、肺高血圧症、リウマチ熱、22q11.2欠失症候群、Down症候群、無脾症、WPW症候群、Ebstein奇形、房室ブロック、Marfan症候群

教科書：

◆ 小児科学(文光堂)273、548-553、603-604、688、707、709、712-715、717、718、719-721、723

参考書：

◆ Nelson Textbook of Pediatrics, 第19版, Kleigman RM, エルゼビア・ジャパン
978-1-4377-0755-7

予習：

教科書で当該箇所をざっと読んでおく（20分）

復習：

授業で使用した資料を読み直し、不明点は教科書や参考書で調べる。

小児 14 : 小児の精神疾患

日時 : 9月17日(火) 1時限

担当者 : 桑原 斉(神経精神科・心療内科)

内容 :

1. 自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症、チック症の症状を挙げ、説明できる。
2. 自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症、チック症の治療について、説明できる。
3. 心身症、被虐待児症候群の概念を、説明できる。
4. 心身症、被虐待児症候群の対応について、説明できる。

キーワード :

ユニット :

自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症、チック症、心身症、被虐待児症候群

国試出題基準 :

学習障害(限局性学習症)、広汎性発達障害(自閉スペクトラム症)、注意欠陥多動障害< ADHD >(注意欠如・多動症)、チック障害(チック症)、心身症、被虐待児症候群

教科書 :

- ◆ 小児科学(文光堂) pp1050-1086

予習 :

教科書で当該箇所を読む(30分)

復習 :

授業で配布した資料を再度読み直し、理解できていないところや疑問点について教科書で調べておく(30分)

小児 15 : 小児の救命救急医療

日時 : 9月27日(金) 3時限

担当者 : 櫻井 淑男(総セ 小児科)

内容 :

1. 小児の評価法&呼吸・循環の基礎
2. 小児救急車搬送データから見た小児救急医療
3. 小児重症患者の集約化(全国の傾向と埼玉県の特徴)
4. 小児救命救急センターの役割
5. 乳幼児の心肺蘇生法を説明できる。

キーワード :

ユニット :

小児救命救急センター、小児二次救命処置法(PALS)、小児三次救急、集約化、死亡率、予測死亡率、第一印象、一次評価、二次評価

教科書 :

- ◆ 小児科学 第10版(文光堂) P195-205、2011

参考書 :

- ◆ PALS プロバイダーマニュアル 2015 (AHA)
- ◆ 小児救急医療の理論と実践(編集やなるにあ) P1-12, 2013

予習 :

教科書で当該箇所をざっと読んでおく(20分)

復習 :

小児の評価法について A4 半ページから 1 ページ以内にまとめる(20分)